

森林内を歩きながら、談笑する参加者たち—北杜市高根町
清里のキープ協会にて



森の人づくり講座 北杜

生物の多様性体験

環境問題に関心のあ 参加者は敷地内の森
る社会人を育成しよう 林で、視野の狭まる面
と「森の人づくり講座」を著けたり、四つんば
2009」が10日から いになって動くこと
4日間、北杜市高根町 で、キツネやネズミの
清里のキープ協会が運 気分を体験。木の葉や
まねミュージアム」で 研究者の話聞きなが
ら展示を見学。ヤマネ が1年の半分以上を寝
て過ごすという聞いた参加 魅力を感じた。どんな
道へ進んでも今回の新

視野が狭まる面／四つんばい歩行

営する「キープ・フォ きのことを集め、生物の
レスターズ・スクー 多様性を実感した。10
ル」で行われ、全国か 分でも種類のきのこが
ら17人の大学院生や大 集まったという。
学生が参加した。 また、同協会の「や
と笑いながら、ヤマネ 鮮な経験は生きると思
います」と明るい声で 話していた。
同講座は今回で19回
目。来年度以降も予定
している。問い合わせ
はキープ・フォレスタ
ーズ・スクール(☎0
551・48・379
5)。【春増翔太】

定する機械の研究をし
ている竹川翔一朗さん
(24)は、研究者になる
か、企業で環境関連事
業に携わるか迷ってい
るが、「研究は理論す
るが、実際に森で生物
に接して純粋な自然の
魅力を感じた。どんな
道へ進んでも今回の新

自然を体験しながら
コミュニケーションす
ることで、環境教育や
環境保全に必要な能力
を養えるという。
名古屋大大学院で大
気中の二酸化炭素を測